

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 2 月 12 日 (2016.2.12)

【公開番号】特開 2014-129247 (P2014-129247A)

【公開日】平成 26 年 7 月 10 日 (2014.7.10)

【年通号数】公開・登録公報 2014-037

【出願番号】特願 2012-286503 (P2012-286503)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/97 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 Q 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/97

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 Q 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 16 日 (2015.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒルガオ科アサガオカラクサ属植物 (*Evolvulus*) の抽出物と、ノウゼンカズラ科タベブイア属タベブイアインペティギノーサ (*Tabebuia impetiginosa*) 樹皮抽出物とを含有することを特徴とする、毛髪用の皮膚外用剤。

【請求項 2】

アサガオカラクサ属植物がアサガオカラクサ (*Evolvulus alsinoides* L.)、シロガネカラクサ (*Evolvulus boninensis*)、マルバアサガオカラクサ (*Evolvulus rotundifolia*)、エボルブラス グロメラタス (*Evolvulus glomeratus*)、エボルブラス アルシノイデスパー グリセバチアヌス (*Evolvulus alsinoides* var *grisebachianus*)、エボルブラス ピロサス (*Evolvulus pilosus*)、エボルブラス アルブスキュラ カナス (*Evolvulus arbusculassp. Canus*)、エボルブラス ヌムラリアス (*Evolvulus nummularius*)、エボルブラス セリセウスパー ホロセリセウス (*Evolvulus serisceus* var *holosericeus*) の一種又は二種以上から選ばれることを特徴とする、請求項 1 に記載の毛髪用の皮膚外用剤。

【請求項 3】

アサガオカラクサ属植物の抽出物を、皮膚外用剤全量に対して、固形分として、0.001 質量% ~ 1 質量% 含有することを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の毛髪用の皮膚外用剤。

【請求項 4】

ノウゼンカズラ科タベブイア属タベブイアインペティギノーサ (*Tabebuia impetiginosa*) 樹皮抽出物を、皮膚外用剤全量に対して、固形分として、0.00001 質量% ~ 0.1 質量% 含有することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の毛髪用の皮膚外用剤。

【請求項 5】

アサガオカラクサ属植物の抽出物とノウゼンカズラ科タベブイア属タベブイアインペティギノーサ樹皮抽出物とを、固形分の質量比 50 : 1 ~ 1 : 50 で含有することを特徴と

する、請求項 1 ～ 4 の何れか1項に記載の毛髪用の皮膚外用剤。

【請求項 6】

育毛用であることを特徴とする、請求項 1 ～ 5 の何れか1項に記載の毛髪用の皮膚外用剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明のアサガオカラクサ属植物の抽出物は、毛髪用の皮膚外用剤に含有させることにより、その育毛効果を発揮し、禿・薄毛・脱毛等の予防改善に優れている。本発明の毛髪用の皮膚外用剤における、アサガオカラクサ属植物の抽出物の好ましい含有量は、皮膚外用剤全量に対して、固形分として、0.0001質量%～1質量%であり、更に好ましくは0.001質量%～0.5質量%である。これは、少なすぎると育毛効果が発揮されない場合があり、多すぎても効果が頭打ちになり他の処方成分の自由度を損なうことがあるからである。